

2015 **10**

26号

独立行政法人  
**国立病院機構**  
National Hospital Organization



Matsumoto Medical Center

まつもと医療センター

中信松本病院  
松本病院

- ◆地鎮祭・工事のローテーション及び予定.....2
- ◆腎臓内科紹介.....4
- ◆電子カルテについて.....6
- ◆これからの季節に向かってインフルエンザ対策.....7
- ◆市民公開健康講座2015・第62回高ボッチ観光草競馬の救護.....8
- ◆一日看護体験・「一目街の保健室」に参加して.....9
- ◆村井夏祭り・ムーブメント教育・療法夏期実践講座信越大会.....10
- ◆「松本ほんほん」に参加して・すすく教室.....11
- ◆こまぐさ野村クリニック紹介.....12
- ◆薬剤部紹介.....13
- ◆新任・退任医師紹介・今年度からの消化器内科・内視鏡室の対応について.....14
- ◆平成27年度小児科すすく教室低力ロリーメニユーの紹介.....15
- ◆お知らせ.....16



## 地鎮祭



院長 長野 喜  
きたの 野 北

まつもと医療センター新病棟建設の地鎮祭が七月二十一日(大安)に滞りなく行われました。

我がまつもと医療センターにとりまして、新病棟の建設は長年の念願であり、何年も前から建て替えを計画しておりましたが、近年の工事費高騰もあり、なかなか落札とはならず、ご心配をお掛けして参りました。いつになったら新病棟の建替工事が始まるのかとのご質問をお受けすることもありました。新病院に対する地域の皆さまからのご期待と関係各位のご助力ご理解により、この度ようやく地鎮祭を催すことができ、刈初之儀を大建設(忌鎌)、穿初之儀を建築主(忌鋤)と清水建設(忌鋤)により滞りなく行うことができました。当日は天候にも恵まれ、多くの方々にご出席していただき、喜びもひとしおでございます。

新病棟は二つの建物からなり、A棟は地下一階地上6階、B棟は地下一階地上5階で、松本病院の機能と中信松本病院の機能

を一体化し、「治す医療から、支える医療まで」をさらに充実発展させ、文字通り松本南部から塩尻地域の医療を支える中核病院として機能強化を図って参る所存でございます。

少し、歴史と未来を語りたいと思います。昭和四十三年、国立松本病院は信州大学のある旭町からこの村井の地に移転し、丁度この場所で地鎮祭が行われました(次ページ写真)。四十七年前のことです。本日、平成二十二年に中信松本病院と松本病院が組織化して誕生したまつもと医療センターの地鎮祭が執り行なわれたことは、名実ともにまつもと医療センターに生まれ変わることになり、新たな一歩が歴史に刻まれました。当センターの病院理念は「命の尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供する」です。この理念を礎として、医療の本質を見失うことなく、近い将来、皆の力を合わせて、この新病棟に接して新外来棟を作り、われわれの夢を実現して行きたいと思えます。いよいよ工事が始まり、ご近隣のみならずにはご迷惑をおかけすること存じますが、お許しを賜りますようお願い申し上げます。最後に、工事が安全・無事に進められ、素晴らしい新病棟が完成することを心からお願い申し上げます。私のご挨拶といたします。

### 起工式





昭和四十三年地鎮祭風景



穿初之儀（鍬入乃儀）



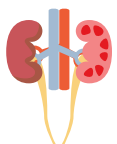
## 工事のローテーション及び予定



職員が待ち望んだ、新病棟等建替整備工事が着工いたしました。工程は大きく5つに区分され、施行箇所、施行内容及び期間は次の表のとおりです。病院という患者さんの療養する場所での工事となるため、騒音・震動等の発生が少ない工法を選んで、安全に工事を進めてまいりますので、ご協力よろしくお願いします。

| 区 分             | 主 な 内 容                            | 期間または時期             |
|-----------------|------------------------------------|---------------------|
| <b>ローテーション1</b> | <b>新病棟の建設、旧看護学校の改修</b>             | <b>27年7月～29年2月</b>  |
| 新病棟への引越         | 病棟、検査・放射線部門、栄養等サービス部門              | 29年4月頃              |
| 旧看護学校への引越       | 病院管理部門・薬剤部門の旧看護学校への引越              | 29年4月頃              |
| 医局の引越           | 医局、医長室の旧手術室への引越                    | 29年4月頃              |
| <b>ローテーション2</b> | <b>C病棟改修、外来改修、旧西側病棟・放射線部門解体</b>    | <b>29年4月～29年7月</b>  |
| C病棟への引越         | 医局を含む全医師の部屋、歯科診察室、救急外来             | 29年8月頃              |
| <b>ローテーション3</b> | <b>旧東側病棟・検査部門解体、仮設渡廊下設置</b>        | <b>29年7月～29年10月</b> |
| <b>ローテーション4</b> | <b>旧手術室を薬剤科へ改修、渡廊下を仮設から本設へ切り替え</b> | <b>29年8月～29年11月</b> |
| 薬局の引越           | 薬剤科が旧看護学校から引越                      | 29年11月頃             |
| <b>ローテーション5</b> | <b>外構整備</b>                        | <b>29年6月～30年3月</b>  |
| 中信松本病院の引越       | 中信松本病院を閉院し、全ての機能を引越                | 30年4月頃              |

# 科 紹 介



## 〈診療体制〉



内科部長  
ひ ぐち まこと  
樋 口 誠  
(松本病院)

腎臓内科は常勤医1名(樋口誠)・  
内科部長、腎臓専門医、透析専門  
医、2014年4月赴任)と非常  
勤医1名(小林信彦医師)・腎臓専  
門医、透析専門医、2007年4  
月から非常勤)で診療を行って  
います。

樋口が主に外来(月水午前)・  
入院診療および外来維持血液透析  
患者の管理を担当しています。小  
林医師は外来診療・透析回診(火  
金午前)と血液  
透析患者の内シ  
ヤント設置術お



小林医師

よび閉塞ぎみの内シヤントの拡張  
術・血栓除去術の手術を金曜日に  
行っています。

## 〈外来診療〉

腫瘍を除く腎臓疾患全般につい  
て診療しています。腎臓病の発見  
には、尿検査がとても大切です。  
無症状でも尿潜血、尿蛋白、尿糖  
などいずれかに異常があればご相  
談ください。尿潜血1+以上かつ  
尿蛋白1+以上、あるいは尿蛋白  
が2+以上の場合には腎臓専門医  
の診療が必要です。腎機能の評価  
には、血清クレアチニン値が有用  
です。一般に男性は $1.0\text{mg/dl}$ 、女  
性は $0.8\text{mg/dl}$ が正常上限値です。  
腎機能が正常の50%未満(一般に  
血清クレアチニン値が正常上限を  
超えた段階)の場合にも腎臓専門  
医の診療が必要です。診断のため  
にX線・超音波・CTなどの画像  
検査も行っています。

慢性糸球体腎炎、膠原病に伴う  
腎病変、糖尿病性腎症、高血圧性  
腎疾患、急性腎不全、慢性腎不全

など多くの腎疾患の外来診療を行  
っています。

末期慢性腎不全(尿毒症)治療  
である血液透析を受ける外来患者  
の管理も重要な診療の一つです。  
透析ベッドは10床と少ないですが、  
昨年7月から月水金の午後透析を、  
本年7月から火土の午後透析を、  
開始し、現在26名の治療を行っ  
ています。他3名の入院患者がいま  
す。



# 腎 臓 内

## 〈入院診療〉

活動性のある慢性糸球体腎炎や膠原病・血管炎などの全身性疾患に伴う腎病変が疑われる場合には診断確定と病勢の把握のために腎生検検査が必要です。約1週間の入院でエコー下経皮的腎生検を行っています。当院には病理専門医がいますので、よりの確、迅速な診断が可能です。腎生検結果により、副腎皮質ホルモン（ステロイド）、免疫抑制薬などの治療も行います。

入院患者の疾患内訳は、慢性糸球体腎炎（IgA腎症など）、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎（MPGN・ANCA関連血管炎）、電解質異常（低ナトリウム血症など）、急性腎不全（原因は脱水症、薬剤性、急性腎盂腎炎、膿胸、痛風発作、尿閉など）、慢性腎不全の合併症（うつ血性心不全、肺炎、

帯状疱疹、蜂窩織炎、悪性腫瘍など）、末期慢性腎不全患者の血液透析準備（内シャント設置術）および透析導入、血液透析患者の合併症（肺炎、結核性胸膜炎、急性胃腸炎、汎発性腹膜炎、悪性腫瘍など）など多岐に及びます。

皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科疾患、泌尿器疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、血液疾患など他疾患を合併している患者では、総合病院の特徴を生かし他科の専門医と連携して適切な診療を行うようにしています。

## 〈特殊診療〉

当院透析室スタッフの協力のもとに各種血液浄化療法も行っています。免疫吸着療法、血漿交換療法、二重膜濾過血漿交換療法、LDL吸着療法、血球成分除去療法、エンドトキシン吸着療法、腹水濾過

濃縮再静注療法、直接血液灌流療法など原則的にはすべての血液浄化療法が可能です。

対象疾患の患者様がおられましたら、ご相談ください。

地域の医療機関、信州大学医学部附属病院との連携を円滑にとり、患者様がよりよい診療が受けられるよう心がけています。よろしくお願いいたします。







## 電子カルテについて

多くの病院で電子カルテが導入されるようになって既に10年以上が経過しますが、まつもと医療センターでも漸く電子カルテを導入することになりました。

国立病院の時代には、部門システムやオーダリングあるいは電子カルテの導入を検討する部門は存在せず、会計課・企画課の担当者を中心に医事会計システムの更新が検討されていました。部門システムもごく一部が整備されていただけで、これらを接続してオーダリングを計画できる状況ではなかったのが実情です。

電子カルテ化のための特別な予算や交付金がない状況で、どうしたらオーダリング化し電子カルテを導入できるのかを松本病院で議論したのは、独立行政法人化後の2005年からです。次期の医事会計システムの更新時に、オーダリングあるいは電子カルテの基本パッケージをいれ、既存の部門システムを接続して先ず部分オーダを構成

し、順次部門システムを拡充してフルオーダ化し、最終的に電子カルテ化しようとして計画していました。

2008年には中信松本病院と松本病院が組織統合され、2010年に医事会計システムの共同入札が国立病院機構主導で行われ、その際に部分的なオーダリングを導入しました。

2015年ごろを想定した次期の医事会計システム更新時に、現状のオーダリングの拡張に留めるか更に進めて電子カルテ化を図るかを検討してきました。同時期に新病棟を建設し中信松本病院と松本病院を統合する計画が決まったことから、当初は新病棟への統合時に電子カルテ化を予定しましたが、病棟建設計画が大幅に遅れることとなり、病棟の完成前に医事会計システムの更新期限を迎えることとなりました。そのため、病院統合を待たずに医事会計システムを更新し、2016年2月稼動予定でNEC社の電子カルテシステムを導入することとなりました。

現在各部門にワーキンググループを設けて導入準備が進んでいるところで、電子カルテの長所を生かし、診療の迅速性と情報の共有を高め、待ち時間の短縮など患者サービスの向上に期待しています。

統合までの間、中信松本病院では従来と変わらず部分オーダリングの状況が続きますが、新棟へ統合後に電子カルテに移行する予定です。



医療情報管理部長 中澤 功  
なかざわ こう

## これからの季節に向かってインフルエンザ対策

インフルエンザウイルスは、ウイルスの抗原性を変えながら毎年冬期に流行を繰り返します。2014-2015シーズンはインフルエンザA香港型が流行しました。A香港型は、小児や高齢者で重症化しやすく大流行しやすいという特徴があります。更に、A香港型はワクチンが効きにくいことでも知られています。A香港型に対するワクチンの効果は、健康な成人で40～50%、65歳以上高齢者では20%程度と大変低い数字です。この理由にはワクチンの製造過程において鶏卵中で増殖するウイルスが変異しやすいことが原因とされています。

インフルエンザのワクチンは、毎年2月にWHO（世界保健機関）が翌シーズン流行するインフルエンザウイルスを推定しワクチンの推奨株を製造します。この製造株を使用して、世界各国でワクチンが作られます。昨シーズンまでは、A型抗原2種B型抗原1種の3価ワクチンでしたが、今シーズンよりA型抗原2種B型抗原2種の4価ワクチンとなること

が発表されています。

ただし残念なことに、WHOの予測す

るウイルス型が翌シーズン流行するとは限りません。つまり、昨年のようにワクチンの効果が低いシーズンもあるというのが現状です。このようにワクチンの効果が低いと聞くと接種する意味がないのではないかと考える方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし、重症化を防ぐという点では100%ではないものの高い効果を発揮するためインフルエンザワクチンは一般的に接種を推奨されています。

特に病院では、全職員がワクチン接種を受け「集団免疫」を作り病院全体を守るといった必要があります。当院では毎年インフルエンザ流行前である10月に全職員のインフルエンザワクチン接種を行っています。

同時に、患者さんにもワクチン接種を推奨しています。中でも、インフルエンザ合併症のハイリスクグループと呼ばれる65歳以上の高齢者、乳幼児、慢性心疾患患者、慢性肺疾患患者、糖尿病患者等免疫不全状態の患者へはワクチン接種を強く推奨します。

当院は、昨年度のような集団感染を二度と起こさないように、長野県感染症情

報に基づきインフルエンザ対策を全病的に行います。平素からの手指衛生の徹底に加え、インフルエンザ流行期には全職員のマスク着用や体調チェック、インフルエンザ注意報・警報発令時には面会制限や来院者全員のマスク着用等を行います。インフルエンザの感染対策には職員だけでなく来院者の皆様のご協力も必要になります。皆様のご理解ご協力を何卒宜しくお願い致します。



感染制御室長 古田 清

感染管理認定看護師 平林 亜希子



## 市民公開健康講座2015

6月28日

6月28日(日)に塩尻市えんパーク3F多目的ホールで市民公開講座2015が行われました。3月に新病棟の入札が決まり、対外的にもいろいろなところでしっかりアピールをしたいと考え、今回は「へまつもと医療センターの今、そしてこれから」をテーマとし、武井神経内科医長による「認知症について」、奥原消化器内科医師に「ピロリ菌と胃がんについて」、小池が「まづもと医療センターの今、そしてこれから」という3つの演題で行いました。武井先生は車座講演などで相手にしている年齢層に比べて少し若い聴衆に戸惑っていました。そこは手慣れたもので、そこそこ笑える話を織り込みながら、認知症についてわかりやすく解説していただきました。奥原先生には、内視鏡の歴史から、ピロリ菌の話題、

胃がんから最新の内視鏡治療まで、盛りだくさんのお話しをしていただきました。小池は現在当院で行っている診療と地域医療の現状、病院のこれから目指す方向について新病棟のアピールも交えて行いました。聴衆は老若男女取り混ぜて50名でした。

昨年は塩尻市広報課の方が講演のビデオ撮影をしてください、講演の後、えんパーク内のテレビやケーブルテレビで流していただきましたが、今年は古田先生がビデオ撮影して下さいました。今後、外来ロビーなどでの放映を予定しています。回収したアンケートでは、やはり今回のテーマ以外にも健康や医療に関する多岐にわたる講演の要望があり、車座講義以外にも、塩尻市民へのさらなるアピールが必要だと感じました。

特命副院長

小池 祥一郎  
こいけ しょういちろう



## 第62回高ボッチ観光草競馬の救護

8月2日

8月2日(日)に高ボッチ高原で行われた草競馬の救護班としてお手伝いしてきました。高ボッチ草競馬は、昭和27年に開始され、今年で62回目です。当初の農耕馬のレースは少なく、ポニーからサラブレッドまでレースは多彩で、一周400メートルの起伏に富んだ砂馬場コースを、レースによって1周から7周まで行います。全27レース中、予選では馬が逆走したり、落馬も相次ぎましたが、決勝レースはいずれも白熱した好ゲームで、特にサラブレッドによるいくつかのレースは見応えがありました。例年へいるだけ救護」と聞いていましたが、到着するなりレース直前に馬脚で蹴られ、肋骨骨折した人を当院に救急搬送しました。以後は観戦者や騎手の外傷数名のみで、人馬ともに大きなケガはありませんでした。夏晴れの

特命副院長

小池 祥一郎  
こいけ しょういちろう



高原は吹く風も爽やかで、6時間があつという間でした。来年は皆さんも観戦いかがですか？





## 一日看護体験



一に手洗い二に手洗い！

当院では、「一日看護体験事業（長野県看護協会）」に参加し、看護師体験を希望する高校生を毎年受け入れていきます。平成27年度は、松本市・塩尻市の高校生13名の応募があり、7月～8月にかけて各部署で「看護師の仕事」を体験しました。

生徒の皆さんからは、「看護師さんは、立ちっぱなしで忙しい」など仕事の大変さの声だけでなく、「患者さんに対する看護師の優しさやりがいを感じた」「看護師になりたいと強く思った」等の感想があり、進路を決定する上での良い経験になったと思います。将来の看護部の仲間になることを期待します。

副看護部長  
大井 寿美江  
おおい すみえ



患者さんの手を握らせてもらいました！



感じたことの共有です



患者さんの清拭のお手伝い

### 看護の日のイベント

## 「一日街の保健室」に参加して 5月16日



フロンテス・  
ナイチンゲール

5月16日、塩尻市のGAZ Aで「一日街の保健室」を開催しました。当日は朝から小雨が降っていましたが、147名の方が参加してくださいました。

「一日街の保健室」では大人から子供まで年齢問わず参加していただけるように、さまざまなコーナーを設けました。計測のコーナーでは、身体・体重・体脂肪測定や血圧・血糖測定、骨密度等の計測を行い、体の状態を知っていただきました。骨密度は毎回盛況で、今年も測定を希望される方が大勢いました。

相談コーナーでは、医師による健康相談や薬剤師による薬の相談、放射線技師による放射線の話、看護師による相談、栄養士による栄養相談を行いました。私が担当した看護師による相談コーナーには、「ストレスが原因で...」と心の不調を訴えてこられた人もいました。腰を下ろし、ゆっくり話をすることで「病院ではなかなか聞きにくいことが聞けて良かった。来年もまた来ます。」と笑顔になってくださると、私までうれしくなりました。

体験コーナーでは、腰痛体操や輪投げ・白衣体験・バル

ンアートなど行いました。輪投げ・白衣体験・バルナーは子供たちに盛況でした。小児科は松本市広域救急医療機関であり、このような機会に、まつもと医療センターを知っていただくことはとても有意義なことだと思います。GAZAに買い物に来て「一日街の保健室」のことを知り参加した人もいましたが、広報誌やチラシを見て、わざわざ来て下さった方もいました。中には3年ほど続けて参加している方や、毎年楽しみにしていると言ってくれた方もおり、開催する側にとっては励みになりました。



1病棟看護部長  
秋山 和枝  
あきやま かずえ

## 7月26日 夢来(ムライ)商工夏まつりに参加いたしました

まつもと医療センターでは、地域の方々により病院を身近に感じていただくために、これまで様々なイベントを開催してきました。新病棟建設予定地である松本病院の所在地村井地区への地域貢献と新病棟をアピールするということから一昨年から「夢来(ムライ)商工夏まつり」に参加しています。

「夢来商工夏まつり」は村井町商工親和会が主催し村井町会・小屋町会が後援する、今年で33回目を数える歴史ある地域の夏祭りです。商工会メンバーの一員として事前の打ち合わせ・準備から参加するとともに、後片付けまでこなし地域の皆様と共に汗を流しました。7月26日(日)の夏まつり当日は、ここ数年にない厳しい暑さのなかで行われ、今年J-1に昇格した松本山雅の選手サイン会等もあるとあって例年以上の賑わいとなりました。来訪者からは「ようやく始まったね、長かったね」等新病棟に関する意見を多くいただきました。恒例の血圧測定・健康相談に加え熱中症予防のポイントをお話しするとともに団扇や携帯用冷却パック、塩分・ミネラル摂取キャンペーンを配布しました。主催の商工会より今年は

AEDを持ってきて欲しいとの要望もあり、医療に対する関心は深まってきています。商工会長や町会長からはまつもと医療センター新病棟とともに今後予定されている高校の駅前への移転、さらには村井駅のバリアフリー化と病院と学校を核とした街づくりを目指すとのこと、まつもと医療センターに対する期待の大きさが伺えました。

まつもと医療センターでは新病棟の運営体制構築等重要な局面を迎えています。今回の夢来商工夏まつりにより、地域住民に対して少しばかりの地域貢献と病院をアピールが出来たことと思います。今後もまつもと医療センターが地域に愛される病院として地域貢献が出来るよう頑張りたいと思います。

管理課長  
岩垂 朋昭  
いわたれ  
ともあき



## 8月8日・9日 ムーブメント教育・療法夏期実践講座信越大会を開催して

去る8月8日・9日の両日、当院が共催するNPO法人ムーブメント教育・療法協会が夏期実践講座信越大会が盛大に行われました。私たち療育指導室は、西村小児科医長、病棟師長、看護師、療養介助職、の皆さんと一緒に、「ムーブメント実践講座実行委員会」を開きながら「ムーブメントチーム」として当講座の運営に携わりました。会場である塩尻文化センターにて、北海道から沖縄まで日本全国から集まった160名ほどの受講生達が、連日の猛暑にも関わらず熱心に学ぶ姿を目の当たりにし、あらためて「自己練習」することの厳しさと尊さを教わりました。

本講座は、協会会長であり横浜国立大学及び和光大学名誉教授である小林芳文先生の講演「ムーブメント教育・療法の基礎」から始まり、ご家族、学校教諭、保育士、療養介助職、といったそれぞれの立場からの講義、また、元当院小児科医長で現在、城西病院小児科医長 石田修一先生の特別講演、さらには、現場ですぐに活用できる実践講座など、バラエティー豊かな内容にて構成され、中でも、石田先生のご講演では、「医師から話が聴けて大変勉強になった」等の声が受講生から

聞かれ、特に好評を得ることができました。私たちが病棟で日々関わらせていただいている利用者の皆様方が「楽しく生きる」ことを大切に行っている「ムーブメント教育・療法」。興味のある方はぜひ「ムーブメント教育・療法」で検索してみてください。そこに、皆の笑顔が待っています。

療育指導室  
高橋 明美  
たかはし  
あけみ



## 8月1日



5時30分、いよいよスタートです。「ぼんぼん松本、ぼんぼんぼん…」歌声に併せて踊り始めました。はじめのテレビカメラの前では行儀良く振り付け通り？に踊っていました。が、徐々に連の中央に集まってジャンプする、毎年恒例の踊りになっていきました。私も負けじと「まつもと医療センター」の大団扇を大きく煽りました。踊りの休憩時間です。30分以上連続で踊ると、足が棒のようになります。路肩の露店からは、美味しそうな匂いが漂ってきました。早速食べ物を調達して頼張る者、酒を一気に呷る者、道路に座り込んで休む者、様々です。

くさん見受けられます。皆、くたくたになっ  
てきました。最後まで元気を出して踊って  
います。「まつもと医療センター」の大団  
扇もぼろぼろとなり、文字が全部剥けてし  
まいました。しかしこれは、新病棟建築が  
始まって、excellent hospital目指して  
まつもと医療センターがリニューアルする  
良い兆しと解釈しておきましょう。

9時を回り、踊りが終了しました。今年  
は最優秀賞を取れませんでした。病人やけ  
が人も出ずに、無事に終了しました。その  
後、「しづか」で打ち上げです。

やはり一仕事した後の酒は格別です。普  
段なかなか御一緒出来ない、松本病院の  
スタッフや若手職員と共に汗を流せて、一  
体感が強まった気がします。来年も皆さ  
んが「松本ほんぼん」で盛大に踊れま  
すよう祈念いたします。

最後に、名だけ連長に代わり仕切って  
頂いた岩垂さん、はっぴや宴会の準備な  
ど尽力頂いた山田さんをはじめとする事  
務の方々、ほんぼんにご参加頂いた皆様、  
本当にありがとうございました。



外科系診療部長  
近藤 竜一

## 8月4日～6日



毎年夏休み期間を利用して開催している「すくすく教室」は、2泊3日の日程で入院していただき、医師、看護師、児童指導員、理学療法士、栄養士、心理士など多職種がチームになって指導し、適切な食事、運動、生活について実際に体験しながら学習するプログラムです。自分で体重測定し記録することや、販売店でおやつの成分表示を調べたり、自分が食べるごはんの計量を行って、カロリーや栄養のバランスについて学習してもらったり、家でもできる体操やストレッチ、筋力トレーニングを覚えてもらったりして、外来での指導につなげています。今年の参加者は2名と少なく、来年へ向けてすくすく教室の良さをいろんな場所でアピールしていかねればならないと考えさせられました。また集団でのプログラムだけでなく、個別のプログラムでも同等の体験学習ができるようなプログラムも用意して、参加者のニーズに応えられるようにしたいと考えています。

小児科医師  
倉田 研児  
くらた けんじ



# こまくさ野村クリニック紹介



はらだ はるひさ  
原田 晴久 先生



〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村2146  
TEL (0263) 51-1121

URL: <http://www.komakusa-nomura.jp>

## 診療時間

| 時間／曜日       | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:00～18:30 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

\* 休診日／日曜日・祝日・盆休み・年末年始休み \* 木曜日は午前のみ

まつもと医療センターはじめ地域の各専門職の皆様の温かいお力添えの中、お陰様でこまくさ野村クリニックは（介護福祉施設併設）開設12年目を迎えることが出来ました。改めて心より感謝申し上げます。

地域の乳児が小学生に、学童が成人に、90歳の方が100歳に、そういった年月のもつ文脈の中でプライマリ・ケア医、家庭医として診療しております。2018年、2025年と諸制度改定や人口動態問題も含め今後医療介護福祉等多くの専門職が連携協働して新たな地域完結型の快適、適切なケア・医療を提供していくシステムの構築が強く求められております。このような要請に応じて、幅広い世代を含む外来診療、訪問診療に対応できるよう地域包括ケアの視点を基に、改めて当クリニックもハード、ソフト両面での整備が必要と考えています。こまくさ野村クリニックは何かの病気に専門特化した専門科診療所ではありません。一般的な身体診察、検査・治療手技をもとに、一般的な病気、体調不良に対してその時点での標準化された知識と技量の範囲で解決への導入からマネージメント、医療・介護の連携活動、保健事業・予防医療（日本専門医機構平成27年4月報告参照）等を行いゲートキーパーたりたいと考えています。

そして来るべき多死時代のこの国において日本人の風情に照らした患者さんのQOLの終焉としての看取りの文化の再構築に、私たちプライマリ・ケア医、家庭医も取り組まなければなりません。『もう高齢だから、とか、認知症が進行したから』で画一的に括らないで、倫理的妥当性を担保しながら遂行する医療には、日常の一般医学知識の更新（Continuing Education）が欠かせないと思います（さりながら私個人はContinuing Educationが不十分のそりを免れません）、待たれていた中信松本病院と松本病院が統合した「まつもと医療センター」が平成30年3月には完成とのこと、今まで以上に重症度、専門性の高い疾患で医療関与度の高い患者さんを適切な時期に診ていただくように手配できる判断力がプライマリ・ケア医、家庭医には要求されます。近隣の多、他医療・介護専門職が連携しなければ（私の立場からは多専門職の皆様にお世話にならなければ）、地域完結の実践ができません。これは自明の理です。

そのような変革の時期を控え、クリニック開設12年目を迎えて改めて今後ともよりよく願います。





## 薬剤部紹介



薬剤部（松本病院、中信松本病院）は、患者さんに最良の医療を提供するために医師・看護師・他のコメディカルスタッフと共に医療チームの一員として活動しています。薬剤部は現在、薬剤師13名、（松本7名、中信6名）薬剤助手3名（松本2名、中信1名）です。

薬剤部の業務は、調剤、注射払い出し、抗がん剤の調製など基本的な業務と緩和ケア、感染防止対策、NST、褥瘡対策などの「チーム医療」にも積極的に参加しています。

まず調剤について、外来患者さん（院外処方せん発行率約90%）と入院患者さんの薬が中心で、その際、処方内容（薬品名、用法・用量、日数、併用禁忌など）を確認し、外来患者さんの薬には、薬の作用・副作用・注意事項などを記載した説明書とお薬手帳貼付用シールを添付して、薬の適正使用に努めています。また入院時に患者さんが持参された薬の安全確保のため、持参薬鑑別報告書を作成しています。注射払い出し業務は、注射処方せんの処方内容が適正であるか確認した後、払い出しを行い、がん化学療法法の調製は、抗がん剤を安全キャビネット内で調製するなど、感染・汚染等の防止に細心の注意を払って行っています。

以上の基本業務の他に、薬を管理する医薬品管理業務では、院内の薬の保管状況の点検、及び品質の確保・有効期限の

チェック・保管管理の適正化に努めています。また日々変化する医薬品情報業務（D-I）は、院内に情報を迅速かつ的確に伝達する業務で、採用医薬品に関し、医薬品集を作成し、年1回改訂しており、薬剤委員会では、採用医薬品、削除医薬品、後発医薬品導入などの審議のため、資料作成、医薬品情報の提供などを行っています。

チーム医療に関連する業務のひとつとして薬剤管理指導業務があります。入院患者さんに自分が服用する薬について理解してもらい、より効果的な治療につながるよう努めています。その他、感染制御（ICT）ラウンド・DOTSカンファレンス・緩和ケアチーム会・栄養（NST）



松本病院薬剤部



中信松本病院薬剤部

ラウンドなどにも参加しています。

また院内で行われている治験について、治験審査委員会で審議され、事務手続き及び患者さんへの同意取得前説明、治験薬の保管管理、治験協力者に対する調剤・服薬指導は、治験管理担当の薬剤師が実施しています。

将来薬剤師になる薬学生の実務実習も受け入れています。

薬剤部では、薬に関する勉強会を随時開催し、医療・薬剤などの知識の向上に努め、今後も病院経営を考慮しつつ、患者さんにやさしい医療を目指して貢献していきたいと思っています。

副薬剤部長 中谷 彰  
なかや あきら

# 新任・退任医師紹介

## ■呼吸器外科

新任  
医師

## 中信松本病院

よろしくお願いします



まつおか しゅんいちろう  
**松岡 峻一郎**  
呼吸器外科医師  
平成23年卒  
専門：呼吸器外科

専門：呼吸器外科  
学会・認定医  
日本外科学会、日本呼吸器外科学会、  
日本胸部外科学会、日本肺癌学会、日本内視鏡外科学会  
7月から赴任となりました。より良い医療が提供できるよう日々  
精進していきますので、よろしくお願いします。



お世話になりました

退任  
医師

## 中信松本病院

## ■整形外科

たか ざわ あきら  
**高 沢 彰**  
整形外科医師

## ■呼吸器外科

みうら けんたろう  
**三浦 健太郎**  
呼吸器外科医師

## 今年度からの消化器内科・内視鏡室の対応について

|           | 月   | 火     | 水        |
|-----------|-----|-------|----------|
| 消化器新患     | 宮 林 | 三井・奥原 | 奥 原      |
| 消化器再来     | 松 林 | 宮 林   | 松林・松田・奥原 |
| 内視鏡リーダー   | 三 井 | 松 林   | 宮 林      |
| 内 視 鏡 検 査 | 奥 原 | 松 田   | 三 井      |
|           | 木   | 金     |          |
| 消化器新患     | 松 林 | 松 田   |          |
| 消化器再来     | 三 井 | 宮林・松田 |          |
| 内視鏡リーダー   | 松 田 | 奥 原   |          |
| 内 視 鏡 検 査 | 奥 原 | 三井・松林 |          |

今年度は信州上田医療センターから奥原医師を迎え、消化器内科は宮林・松林・松田・奥原・三井の5人態勢で出発しました。  
半年を経過し、消化器疾患の入院・内視鏡検査などの受け入れが安定してきましたので現状を報告いたします。  
左の表のごとく遅れてではあります。消化器新患外来を設けて消化器診察の入り口とし、内視鏡検査に

については曜日ごとにそれぞれリーダーを決めて責任の所在をはっきりしました。

これにより緊急内視鏡・消化器疾患の受け入れが円滑になっています。また、予約に関して午前中は内視鏡の予約専用を設け（担当：渋谷）、混み合う午前中の内視鏡予約をよりスムーズに受け入れられるように努力しております。

検診が多くなるこれから、今年度は大腸内視鏡を中心に受け入れ活動の拡大と運営の円滑化に努めて参りますので皆様の応援とさらなる紹介をお願いします。

消化器内科  
**宮林 秀晴**  
みやはらし ひではる







# 平成27年度 小児科すくすく教室 低カロリーメニューの紹介



## 冷やし中華（こんにゃく麺）

### 材料（1人分）・作り方

- こんにゃく麺（市販品）…1人前  
付属のつゆ……………1人前  
ロースハム……………1枚  
胡瓜、トマト……………各30g  
錦糸卵……………10g  
干椎茸……………5g  
A 砂糖……………1g  
みりん……………2g  
醤油……………3g



1. こんにゃく麺は湯通しし、氷水で冷やします。
2. ロースハムと胡瓜は千切り、トマトはくし型切りにします。
3. 干椎茸は水で戻してから、Aの調味料で甘辛く煮ます。
4. 器にこんにゃく麺と具材を彩りよく盛付け、付属のつゆをかけて
5. 完成です。

中信松本病院栄養管理室は毎年夏季に開催されます、小児科すくすく教室にスタッフとして参加しております。私たち栄養士は、参加される児童、ご家族の皆様が、日頃の食生活を見直す機会になればと考え、栄養指導、食事相談、献立作り、調理実習等を行っております。

今回は、今年度のすくすく教室で提供した低カロリーのメニューをご紹介します。

その差約300kcal

### 冷やし中華（こんにゃく麺）1人前の栄養価

熱量：172kcal たんぱく質：10.2g 脂質：6.4g  
炭水化物：18.6g

※冷やし中華1人前の標準的な栄養価は……

熱量：467kcal たんぱく質：19.6g 脂質：33.9g 炭水化物：75.5g



最終日には参加された児童、ご家族とスタッフでアイスクリームの手作りに挑戦しました。材料は生クリーム・牛乳の代わりに豆乳を使用し、また、砂糖の代わりに低甘味料を使用し、カロリー控えめのアイスに仕上げました。出来上がりの状態は、上手に固まったものもあれば、そうでないものもありましたが、皆さん楽しんでアイスクリームを作ることができました。



## 豆乳アイスクリーム

### 材料（1人分）・作り方

- 豆乳（無調整）……………100g  
マービー（低カロリー甘味料）…10g  
チョコレートソース……………15g



1. 容器に豆乳、マービーを入れます。
2. 大き目の金属の缶に氷と塩を入れます。
3. ②の缶の中に①の容器を入れます。
4. 缶をよく振ります。（目安20分程度）
5. 豆乳アイスが程よく固まったら出来上がりです。

### 豆乳アイスクリーム1人前の栄養価

熱量：86kcal  
たんぱく質：3.6g  
脂質：2.0g  
炭水化物：13.4g

※バニラアイス1人前（100g）の標準的な栄養価は……

熱量：224kcal たんぱく質：4.1g  
脂質：15.0g 炭水化物：17.4g

カロリー約1/3カット

栄養士

清水

博之

# お知らせ

## 第6回まつもと医療センター登録医大会のご案内

日時 2015年11月25日(水) 場所 松本 東急REIホテル

**Opening Remarks 18:45**  
まつもと医療センター院長 北野喜良

**Part1** 座長 副院長 大原 慎司

18:50~19:15 演題①

「当院の重症心身障がい児(者)に関する取組(仮)」

小児科医長 西村 貴文

19:15~19:40 演題②

「血液疾患に対する造血幹細胞移植の進歩(仮)」

血液内科医長 伊藤 俊朗

**Part2**

司会 循環器内科医長・副医局長  
笠井 宏

19:40~21:00

診療科紹介 & 情報交換会・懇親会

第6回まつもと医療センター登録医大会を左記の予定で開催いたします。登録医の先生方には、別途ご案内をさせていただきます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

まつもと医療センター 地域医療連携室

## 中信松本病院からお知らせ

中信松本病院整形外科を  
受診されるみなさまへ

整形外科外来受付が以下になりました。

◆予約のある方

月・金

◆予約はないが紹介状をお持ちの方

月・水・木・金 8時30分~10時30分

(変更) ◆予約も紹介状もない方

月・水・木 8時30分~10時30分

\*ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

まつもと医療センター  
病棟等建替整備

## 整備進捗状況

平成27年9月10日  
現在



現在、地盤改良工事・山留工事を行っています。先日、タワークレーンの組み立ても終わり、今後は鉄筋・型枠・生コン打設と病棟の本体の工事が始まります。



まつもと医療センター

第26号 平成27年10月1日発行

発行人 院長 北野喜良

松本病院

〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号

TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

中信松本病院

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811

TEL.0263-58-3121 FAX.0263-86-3190

<http://mmccenta.jp/>

## 編集後記

時折、「コッソ」と音を立ててコースを歩く。夏の終わり、私はマレットゴルフを始めました。長野県は今、マレットゴルフが流行しているそうです。そういえば、河川敷でおいちちゃんおばあちゃん達が「コッソ」、「コッソ」と音を鳴らして、楽しんでいましたね。適度な運動にもなるのと、ここで、長寿の県である理由がここにもあるのかもしれないですね。これを読んでくれている皆さんも、ぜひ健康のためにマレットゴルフをやってみてはいかがでしょうか。(H)

